

東久留米のいきもの(4月観察の野鳥と昆虫)



ハシブトガラス



カワセミ



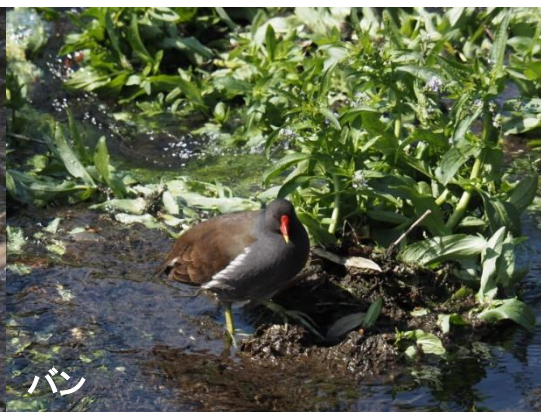
ツミ



カワラヒワ



マガモ



バン



ツグミ



モズ

〔ハシブトガラス:4月19日観察〕最近生息数が少なくなったと言われています。さいかち窪の広場にいた内の一部で合計20羽を超えてこの場所に集まっていました。

〔カワセミ:4月4日観察〕くわえている獲物はやや大きめの「カワムツ」でしょうか？魚の頭がくちばしの先にありこの後どのように飲み込めたかは不明です。

〔ツミ:4月18日観察〕大風が吹いた日の木々が大きく揺れる中、ツミの鳥影を追いかけていた時に近くにとまったところを撮影したものです。

〔カワラヒワ:4月15日観察〕黒目川の河原で水浴びをしているカワラヒワです。全部で10羽ほどおり、アシやガマなどの草影を行き来していました。

〔マガモ:4月9日観察〕オナガガモやヒドリガモなどのカモの仲間は既に北国へ渡り、1羽で餌を求めて泳いでいました。

〔バン:4月15日観察〕マガモ同様、仲間はすでに旅立っていますが、どうして居ついているのでしょうか分かりません。

〔ツグミ:4月19日観察〕この鳥も渡り鳥です。まだ、この東久留米にも少数ですが留まっているようです。

〔モズ:4月7日観察〕おそらく子育てを終えて、この後には高地や北国へ旅立ったかと思われます。

東久留米のいきもの(4月観察の野鳥と昆虫)



東久留米のいきもの(4月観察の野鳥と昆虫)



ツマキチョウ



ツマキチョウ



ニホンカナヘビ



ニホンヤマモリ



キセルガイの仲間



オオスズメバチ



ツチイナゴ



シオカラトンボ

今年の春、多くの植物が早めに開花したように昆虫などの仲間も早めに観察しています。

〔キアゲハ:4月22日観察〕キアゲハを1年ぶりに観察しました。個体数が少ないのか、観察機会が非常に少なくなっています。

〔アオスジアゲハ:4月18日観察〕アオスジアゲハは、ご存じの通り動きが素早く蜜の吸引も短いため、撮影が難しい昆虫の一つです。今年は、春先から撮影ができ幸先が良い。

〔ツマキチョウ:4月15日観察〕この個体は、竹林公園内で観察した物。撮影時にモンシロチョウと思っていたが翅の形体と文様からツマキチョウと判明。町田市や八王子市などで記録があるので東京都でも生育しているようだが初めて観察した種類。

その他、カナヘビやヤマモリ、スズメバチ、バッタ、トンボ類も見かけるようになっています。